

論文概略

論文タイトル	Effects of conventional and alternating cushion weight-shifting in persons with spinal cord injury
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 51 Number 8 Page 1265 - 1276
出版年	2014 年
支援機器	Airpulse PK(alternating-pressure air cushion)
分類(ISO9999)	18：家具・建具・建築設備
試験相	第4相試験
研究仮説(目的)の概要	空気圧自動調整クッション(Airpulse PK)は、脊髄損傷者において、ユーザが自身で行う除圧操作よりも臀部組織の健康状態に良い影響を与える
研究デザイン	群内比較(逐次対象)
障害・疾患	脊髄損傷
対象者・数	障害者13人
主要アウトカム	経皮酸素圧(TC p O ₂ : transcutaneous oxygen tension)
副次アウトカム1	座面圧力分布
副次アウトカム2	LDF (laser Doppler flowmetry)
副次アウトカム3	
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	有
結果の概要	自分で行う除圧操作よりも APAC の方が経皮酸素圧(TC p O ₂ : transcutaneous oxygen tension)がより高かった

論文整理番号 67 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
 支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
 (H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター